

会員の声：大人の責務

全国で13万人を超える不登校やあるいは学級崩壊の問題。そして依然として高水準にあるいじめや暴力行為の問題など。発生のたびに偏差値教育中心の成績中心競争原理によるイライラとか、家庭にあっては放任と厳格な極めて両極端に育てた責任とか、いくつかの原因をあげて論議されてきた。

戦後日本が混沌として無い無いづくしの貧しさから何とか豊かになりたいとか、社会主義で国作りをしようとかいって安保闘争もあった。1つの目的に向かって集団的存在の意識があり、連帯感が存在していた。求めても得られない苦しさから生まれたハングリー精神時代と違って欲しい物は何でも手に入る今。物質的な豊かさは確かに成就した。しかしその追求のあまり、人間として最も大切な子供をどう育てるかという命題と対峙することに欠けていた面があったような気がしてならない。

“生きる力を育てる”を目標にした総合学習を導入した、完全学校週5日制が実施されてまもなく1年になる。

自ら考えて学ぶ。他者を理解し、共感、協力できるような資質力を高める。健康で体力がある。これらの達成のため、学校は年間100～110時間（小3～高校生）を費やし社会体験も交えて取り組んでいる。しかし、そこに家庭、地域も一体となって参画してゆかなければ目的の達成は出来ないだろう。

子供達にどう次世代を手渡してゆくのか、改めて考えるのが大人一人ひとりの責務ではないだろうか。

T. S

第8回理事会

開催日時 平成15年2月4日（火） 11:30～12:30

開催場所 三条ロイヤルホテル

出席者 梨木 五十嵐(茂) 山本 落合 石川(勝) 佐藤(弘) 木宮 佐藤(義) 山中
外山 早川 石川(友) 佐藤(啓) 出席者13/14 (内委任状4)

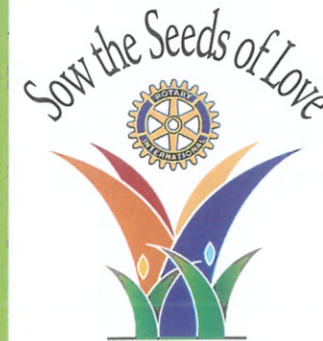
- | | | |
|------|------------------------|----|
| 協議事項 | 1. 社会奉仕事業の件 | 承認 |
| | 知的障害者の為の事業・裏館小学校への植樹事業 | |
| | 2. クラブ口座（信金）名義・印鑑作成の件 | 承認 |
| | 会長名とし、会長印を作成する | |
| | 3. 新年会決算報告 | 承認 |

2月18日例会： 「世界理解月間」卓話「オーストラリアの少数民族問題」
外山工業(株)マーク・ドノヴァン様

2月25日例会： 卓話 米山忠俊会員

3月4日例会： 新入会員卓話 米山キクエ会員

3月11日例会： 卓話



会長／梨木 建夫
幹事／五十嵐 茂
SAA／佐藤 弘志

三条北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日	2003. 2. 4
累計 No	789
当年 No	30

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事： 卓話「最近のロータリー」パストガバナー藤田説量様（三条RC）

出席： 本日の出席 60名中 36名

先々週の出席率 60名中 50名 83.33%（前年同期77.05%）

先週のメイクアップ： 2月3日 三条南RCへ 山上茂夫さん

2～3日 ゴルフ同好会主催親睦ゴルフツアー（参加）敬称略
羽賀一夫、梨木建夫、落合益夫、樋口金占、柄沢憲司
佐藤義英、今井克義、坂本勝司、山口龍二、青木省一
斎藤 正、米山忠俊、駒形 実、丸山 勝、大橋政雄
今村 泉

ゲスト： パストガバナー藤田説量様（三条RC）

ビジター： 三条南RCより 坪井正康さん

会長挨拶： 梨木 建夫



近頃、世の中にはおびただしい情勢が飛び交っています。テレビなどでも、なんだかヒステリックな出来事やむごい事件が発生したと言っては、レポーターと称する人達が声高に報道しています。そんな時はそういった騒がしさからしばらく離れて自然の中に歩み出て、溢れる命の営みのお裾分けを頂いてみませんか。すっかりくたびれた自分の五感（視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚）を子供時代の様に生き生きとした状態に戻す努力をすることが、いま一番いいことだと思います。

自然は私達に何も言うわけではありません。でも庭に出てみると、小鳥がやってきたり、樹木や草花は季節が来れば花を咲かせて、私達の目を楽しませてくれます。だれにほめられる訳でもないのに、私達がこの世に生まれ出る何百年も何千年も前から、けなげに命の営みを続けています。そ

の姿にはどれだけ言葉を重ねても言い尽くせないすばらしい美しさと力があります。最近ガーデニングが盛んになっているのは、みんなが自然に触れてみたいという気持ちを持ち始めたからだと思います。その自然の力をちょっと拝借して、今を生きる知恵と勇気を分けてもらいましょう。自然から学ぶことは沢山あると思います。

幹事報告： 五十嵐幹事

・佐野ガバナーより 防災セミナー参加の御礼

・原ガバナーエレクトより 2003-04年度会長幹事エレクト研修セミナーのご案内

日時 2003年3月23日(日) 9:30～

会場 ハイブ長岡

・ロータリーの友事務所より 全国会員名簿、手帳のお買い上げのお願い

会員名簿はクラブで1枚購入します

手帳は1冊600円です。申し込み書を回しますのでご記入下さい

ニコニコボックス：	4日現在累計 744,100円
-----------	-----------------

藤田説量君 (三条RC) 久しぶりにお邪魔します。

坪井正康君 (三条南RC) 貴クラブに久しぶりにお邪魔いたします。本年もよろしくお願い致します。

梨木建夫君 藤田説量先生本日は卓話ありがとうございます。よろしく御指導お願いします。

五十嵐茂君 //

佐藤弘志君 //

早川龍雄君 インフルエンザが流行しています。女房まで感染しましたが、私は平気です。夫婦仲の悪いのが証明されました。

堀川正幸君 やっと立春ですね。春が待ち遠しいこのごろです。体力保持のため毎週、国上山に登っています。帰りは“じょんのび、じょんのび”です。

今村泉君 2月3日「本成寺節分鬼踊り」をケーブルテレビで初の実況生中継いたしました。三条の素晴らしい伝統文化を三条市民の皆様にお伝えできたのではないかと思います。

中條耕二君 久しぶりに藤田パストガバナーの卓話をおききできます。当クラブ生みの親です。坪井先生ようこそメークにおい出下さいました。

馬場直次郎君 今日は立春、ようやく春になろうとしている今日この頃、明るい話題でいっぱい春になることを念じてます。

山上茂夫君 春立ちぬ、今日は立春。朝〔〇〇立ちぬ〕を体感したから私は回春？じゃなかった〔一瞬^{いっしん}?〕いや！なつかしいの〔懐春〕だ。

群馬県の武蔵塚というクラブだったと思いますが、積み立てをしておられまして、必ず世界大会には毎年10人以上参加しているクラブもございました。

折角、日本で行われる世界大会ですので、特にお若い方は是非ご参加頂きたい。世界のロータリアンとの交流もよいのではないのでしょうか。

ただ私が残念でないことがあります。それは私が幹事の時1961年(昭和36年)晴海の国際見本市センターで国際大会が開かれたとき、会場オープン時ドアが開かれますと共に日本のロータリアンが場所取りのために雪崩になったということ。おばさん達がバーゲンに飛び込む姿とちっとも変わらない格好。まずいなあ・・・と思いました。翌日の新聞には「日本の草ロータリー」と批判の見出しがはっきりと書かれておりました。

今、日本のロータリーは偉くない。ステータス云々ではなく、草の根的な発想でこれから地域社会全体に奉仕をし、或いは世界の問題に取り組んでいくべきだと、ここ4・5年言われて参りました。草の根的発想。誠に私は結構だと思います。基本的な視野を低くして発想したものでなければ世の中にアピールすることはできない。大事なことは、そこに根がなければならない。ただし草的発想はやめてもらいたいというのが私の心境です。

新聞がかつて書いた「日本の草ロータリー」を払拭したロータリーが今あることを、私達が私達の行動に於いて示さなければならないのです。

日本は今、大変な時代にかかっております。しかし、ポールハリスがロータリーを始めたときも、シカゴが大混乱の時代であったことを聞いております。シカゴに他国からの流れ者が沢山入ってきて人口が急成長。ご存じの通り、シカゴはギャング発祥という土地柄です。そんな混乱してどうにもならない世の中を、自分たち仲間で何とかしようと集まったのがロータリアンの始まりです。

私も最初集まった場所を見学したのですが、バスターミナルすぐ前の大変ボロボロのビルでした。今は取り壊されて無いようですが、エレベーターはもの凄く広くガチャーンと閉まりますと、まるで牢屋に入れられたような感じのするところでした。部屋に入りますと実にしょぼくれた、決してロータリーがここから始まったと自慢できるような部屋ではありません。しかし汚く狭い所でも、混乱を克服するために努力しようとした集まりが、ロータリーの基本であったということを考えますと、今この困難な時期に私達は何ができるかということを考えておくべきものではないかと思うのでございます。

イギリスのジスベリーですか?「困難ほど有効な教育者はない」どんな立派な教育者でもその人が困難にぶつかることが何よりの教育者だ、とあります。

今の日本は、かつてないほどの豊かな時代ですが、その時代に生きた者達が、何を残しただろう、と言われることのないように、何か自分たちの足跡を残すべきものではないかと考えています。

色々駄弁を論し、時間になりましたので失礼いたします。ご静聴ありがとうございます。